



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年06月18日 第874号「週刊五十嵐レポート」

論語のご縁

ある会社の経営計画発表会に招かれた。会社のトップは、昨年8月からランチエスター経営を学んでいる。そしてお互いに論語を学んでいる。社名を論語の言葉から引用しているほど。自らを高め、そして社員のレベルを高めるのに論語を活用することをお勧めする。

学んで時に之を習う、亦悦ばしからずや。ここから「学習」という言葉が生まれる。「学ぶ」と「習う」は意味が違う。「学ぶ」とは「読んで理解すること」。「習う」とは、「復習する・実践すること」。「学んだことが「実践」に変わり、自分を高めることになる。なんと悦ばしいことだ。

朋遠方より来る有り、亦樂しからずや。「学ぶ」と「習う」をしてきた者が同じように「学ぶ」と「習う」をしてきた人と出会う。同じ志、信念を持った人たちが朋。思いがけなく遠方より同志(朋)がやってくるのは、なんと楽しいことだ。

之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。学習する方法には、「知る」「好む」「楽しみ」の3つの境地がある。大事な事は知識を求めていく興味を育てること。学習(仕事)に対して興味を持つことではじめて、学習(仕事)は自発的に楽しめるものになる。楽しみの中で学ぶことによって、効率を高めるだけでなく、理解を深め、最後には学んだ知識を実際の仕事の中で正確に使えるようになる。

之を知るを之を知ると為し、知らざるを知らずと為す。是れ知るなり。知っていることは知っている、知らないことは知らないと素直に言えるのが、本当に知ること。知ったかぶりをしない。知らないことは知らないことが本当に知識を求める方法である。

これらは論語のほんの一部。会社のトップはもちろん、中間管理職にも論語は必需品。論語に関わる書物や学んでいる人たちとの交わりで更に理解が深まり、仕事に活かせる。

まさに、学んで時に是を習う、亦悦ばしからずや。

ちょっと
気になる出来事

先日、帝国データバンク千葉支店の調査部の方と会った。
今の千葉県の経済状況を聞いてみた。

3月、4月と30件以上の倒産があった。千葉県では倒産が30件を越すと景気は下降気味という判断材料になる。5月も30件以上になる。千葉県では景気は悪くなっている。

特にサービス業、飲食業、小売業の内需型が良くない。消費が落ちてきている。

建設業では、下請けが厳しい。人手不足が影響して、経費は上昇しているが、価格に転嫁できていないため、利益が圧迫している。

景気が落ち込むのはオリンピック後と言われているが、オリンピック前になりそうだ。



一口×モ
知識

苦しみが消えるとき

いままであった苦しみが一瞬で消える瞬間に、
「気分がいい」と感じます。

立っていて疲れた人が、座った瞬間に楽しみを感じる。
立つという苦の原因が消えたことで苦しみが消えます。
苦しみが消えた瞬間に、楽しみを感じるのです。

お腹が空いた人には、一口目がとてもおいしい。
口にした瞬間、空腹感という苦しみが消えるからです。
苦しみというものは、原因が消えたら、瞬時に消えるのです。
苦しみが消えることがすなわち楽であり、幸福の正体です。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

